

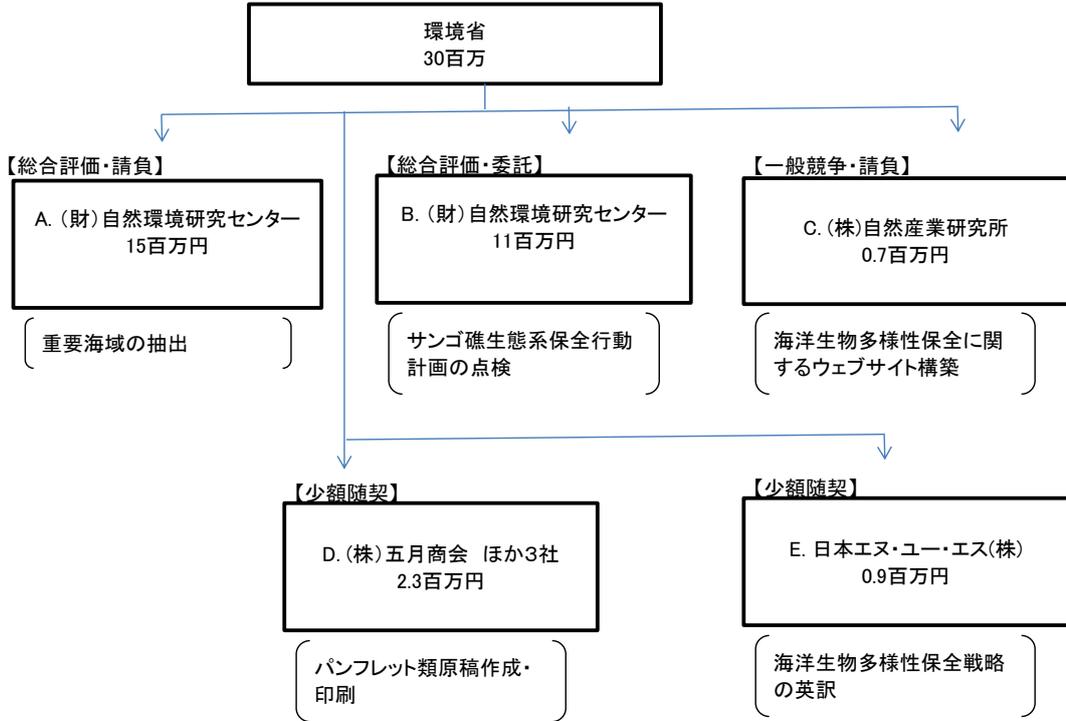
平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	海洋生物多様性保全関係経費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	自然環境計画課		課長 塚本瑞天	
会計区分	一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	生物多様性国家戦略2010 海洋基本計画			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	海洋基本法やそれに基づく海洋基本計画には、海洋環境の保全や海洋生物多様性の確保がうたわれており、環境省では生物多様性国家戦略2010に基づき、平成23年に海洋生物多様性保全戦略を策定したところ。本戦略に示された施策のうち、生態学的又は生物学的に重要な海域(重要海域)の抽出を平成25年度までの予定で実施するとともに、海洋生物多様性の保全の一つの手段である海洋保護区の設定に向けた情報収集を行う。また、海洋生態系の中でも重要な生態系であるサンゴ礁保全のための国内の行動計画として平成22年に策定したサンゴ礁生態系保全行動計画の実施を推進する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	重要海域の抽出のため、専門家による検討会を開催し、検討の基礎となる既存及び新規の情報収集を行い重要海域図を作成する。さらに、海洋生態系の中でも重要な生態系であるサンゴ礁の保全のため、国内の行動計画として平成22年に策定したサンゴ礁生態系保全行動計画の実施を推進するため、専門家の助言のもと、実施の点検と今後の見直しに向けた検討を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	35	58	44	15	0
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	執行額	35	58	44	15	0	
	執行率(%)	26	51	30			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	・海洋生物多様性保全戦略を平成23年度に策定 ・平成25年度までに重要海域の抽出を実施 ・サンゴ礁生態系保全行動計画の策定及び実施		成果実績	-	-	-	-
	完成度を評価する単位がなく、定量的な評価はできない		達成度	%	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	重要海域の抽出、サンゴ礁における危機要因の分析及び対策案の検討、サンゴ礁生態系保全行動計画の策定・点検のための検討を行う事業であるため、定量的な活動指標の設定は困難。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
単位当たり コスト	-		算出根拠	-			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	15	0				
	計	15	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	海洋生物多様性は、水産物の供給等の生態系サービスを通じて広く国民の生活に資するものであり、日本の領海+EEZを対象にした重要海域の抽出は全国的な観点から国が実施すべき事業である。入札が予想外の低価格であったため不用率が大きく上がっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先は少額随契を除き競争入札を経て選定されているが、事業の特殊性から実施できる主体は限られる。定量的なコストの評価は困難。本事業の受益者は海洋生物多様性の生態系サービスを受ける国民一般であり、特定の受益者は存在しない。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	海洋生物多様性保全戦略の策定、重要海域の抽出やサンゴ礁生態系保全行動計画のフォローアップには、日本におけるそれぞれの分野で実績のある専門家に参画頂いており、成果として戦略や行動計画を策定後、これを基にした施策を実施しているところ。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>国際的に海洋生物多様性の保全が重要な議論となっている中、総合海洋政策本部(本部長:内閣総理大臣)において「我が国の海洋保護区の設定のあり方について」が了承された際にも、海洋生物多様性保全戦略における海洋保護区の定義等が引用されるなど、本事業の成果は海洋国家としての我が国の海洋保全の方向付けに大きな役割を果たしている。</p> <p>他方、重要海域は、生物多様性条約の会議や国連の国家管轄権外の海洋生物多様性作業部会においても現在主要な議題となっており、日本の重要海域の情報も求められるなど、今日的な重要性が増している。</p> <p>また、サンゴについても、生物多様性条約の愛知目標10において2015年までに人為的影響を最小化することが決議されており、早急な対応が必要である中、既存のサンゴ礁生態系保全行動計画フォローアップ会議内で専門家の助言を得ながら対応することが実効性が高いと思われる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>愛知目標を踏まえ、目標達成に向け着実に施策を推進する必要があるが、「国立・国定公園総点検事業費」の一部として統合し、効率的な事業実施に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>「国立・国定公園総点検事業費」の一部として統合し、一体的に事業を実施することにより、事業を効率的に実施するように努めることとし、概算要求額を減額。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	155	平成23年行政事業レビュー	147

※平成23年度実績を記入

○平成23年度海洋生物多様性保全関係経費



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(財)自然環境研究センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費		10			
旅費	職員、検討委員、専門家招聘	1			
諸謝金	検討委員、ヒアリング、専門家	0.3			
賃金	室内作業	0.2			
借料及び損料	会場費等	0.3			
雑役務費	検討会速記	0.2			
印刷製本	業務報告書、会議資料	0.5			
その他	一般管理費、消費税等	2			
計		15	計		0
B.(財)自然環境研究センター			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費		5			
旅費	職員、検討委員	3			
諸謝金	検討委員、ヒアリング	0.3			
賃金	室内作業	0.2			
借料及び損料	会場費等	0.1			
印刷製本	業務報告書、会議資料	0.1			
その他	一般管理費、消費税等	2			
計		11	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてプロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	平成23年度重要海域抽出及び海洋保護区ネットワーク推進業務	15	2	85

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	平成23年度サンゴ礁生態系保全行動計画の推進に関する委託業務	11	1	98

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)自然産業研究所	平成23年度「海洋生物多様性保全に関するウェブサイト」構築業務	0.7	4	25

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)五月商会	平成23年度海洋生物多様性保全戦略パンフレット印刷業務	1.4	少額随契	—
2	(株)三州社	平成23年度海洋生物多様性保全戦略パンフレット原稿作成業務	0.4	少額随契	—
3	(株)コムラ	サンゴ礁生態系保全行動計画パンフレット、日本のサンゴ礁生態系と保全行動リーフレット印刷	0.4	少額随契	—
4	(株)五月商会	「ICRI東アジア地域サンゴ礁保護区～戦略2010」パンフレット印刷	0.1	少額随契	—
5	(株)新生社	「海洋生物多様性保全戦略」印刷	0.04	少額随契	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	平成23年度海洋生物多様性保全戦略パンフレット翻訳業務	0.9	少額随契	—